

箱処理で、イネミズゾウムシ、 イネドロオウムシ、ニカメイチュウ、 ツマグロヨコバイ、ウンカ類などに **幅広く効く!!**



水稲の
各種害虫に!!



ツマグロヨコバイ



セジロウンカ



トビイロウンカ



イネミズゾウムシ



イネドロオウムシ



ニカメイチュウ

湛水直播水稲に
使用可能
高密度は種に
対応



長期持続型

ネオニコチノイド系

水稲育苗箱用 殺虫剤

ダントツ®箱粒剤

ダントツは住友化学(株)の登録商標 農林水産省登録 第20827号

水稻の各種害虫に
幅広く長く効く!!

長期持続型 水稻育苗箱用 殺虫剤

ダントツ 箱粒剤

- ① 幅広い殺虫スペクトラム
- ② 効果が長く持続します
- ③ 湛水直播水稻に使用可能

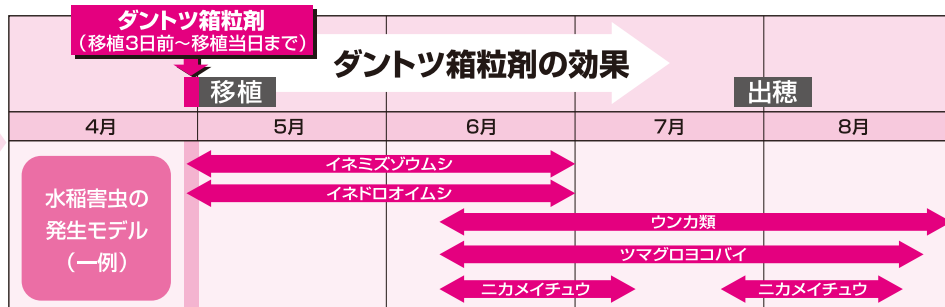
有効成分：クロチアニジン…1.5%

適用と使用法

2021年11月現在の登録内容（太字は2021年10月27日適用拡大）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む 農業の総使用回数
渇水 直播水稻	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	1kg/10a	は種時	1回	は種同時 施薬機を 用いて 土中施用する	4回以内 （は種時までの処理は1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計3回以内）
稲 （箱育苗）	ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ニカメイチュウ フタオビコヤガ イネヒメハモグリバエ	育苗箱 （30×60×3cm、使用土壌約50） 1箱当り50g 高密度には種する場合は1kg/10a 【育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約50） 1箱当り50～100g】	移植3日前 ～移植当日		育苗箱の 上から 均一に 散布する	4回以内 移植時までの処理は 1回以内、本田での散布、 空中散布、無人航空機散布は 合計3回以内
	イネクロカメムシ	育苗箱 （30×60×3cm、使用土壌約50） 1箱当り50g 高密度には種する場合は1kg/10a 【育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約50） 1箱当り50～100g】	移植当日			

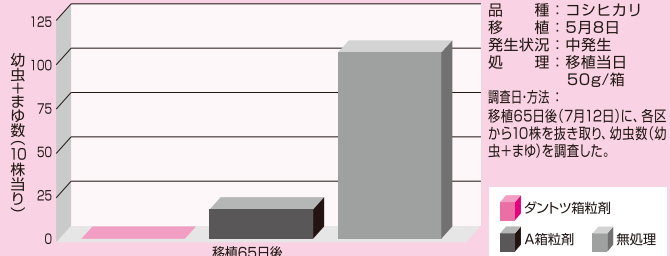
**育苗箱に
本剤を処理!!**
（移植3日前～移植当日）



防除効果

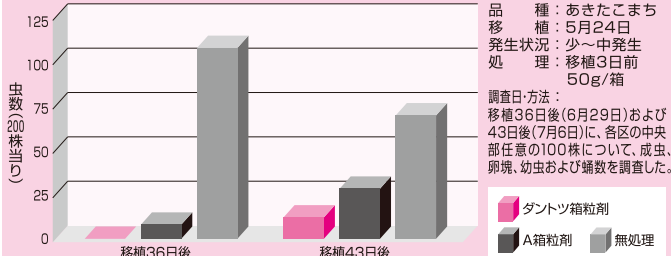
■イネミズゾウムシ

1999年 福島県植物防疫協会



■イネドロオウムシ

1999年 長野県農事試験場



■ニカメイチュウ

2000年 兵庫県植物防疫協会

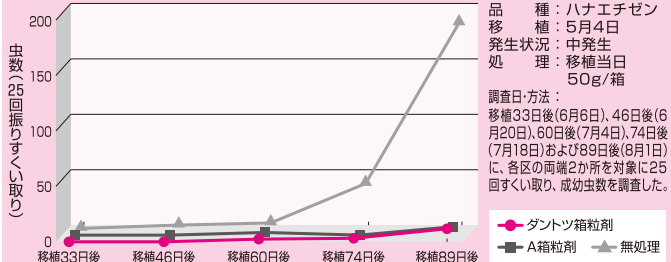
薬剤名	被害株率 (%)			被害茎率 (%)		
	7/14	7/27	9/30	7/14	7/27	9/30
ダントツ(当日)	0	0	0	0	0	0
ダントツ(3日前)	0	0	0.5	0	0	0.02
B粒剤(当日)	0	1	1.5	0	0.06	0.06
無処理	3	4	8.5	0.22	0.26	0.69

品 種：ヒノヒカリ
移 植：7月14日（第一世代幼虫初期）、7月27日（同幼虫被害後期）および
9月30日（同第二世代幼虫期）に、各区中央部2か所（100株/1か所の計200株）に
ついて被害株数および被害茎数を調査し、被害株率・被害茎率を算出した。

処 理：移植3日前または当日 50g/箱
調査日・方法：7月14日（第一世代幼虫初期）、7月27日（同幼虫被害後期）および
9月30日（同第二世代幼虫期）に、各区中央部2か所（100株/1か所の計200株）に
ついて被害株数および被害茎数を調査し、被害株率・被害茎率を算出した。

■ツマグロヨコバイ

2000年 石川県植物防疫協会



使用上の注意

- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、そのまま田植機にかけて移植してください。
- 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約50）1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- イネクロカメムシに対しては残効性に注意してください。
- 軟弱徒長苗、われ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 誤って過剰に使用したり、本剤使用後4日以上移植せずに育苗箱中におくと葉枯れなどの薬害を生じることあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を厳守してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後田面が露出したりしないように注意してください。移植後は直ちに水入れ、水深2～3cm程度を保ち浅水はさけてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

2022年6月作成 全農企画社 P3202206003